# 「相談ふじ」

## 電話で応対

この他に「無言」が81件。無言は、深刻な相談の前ぶれとも受けとれます。

男女の比率では、男の34㌫に対して、女が50㌫と上回っています。

「対人関係」の悩みで最も多かったのが、一般と小学生で合わせて86件。

次に、中学生の24件、保護者23件の順でした。

「心身の発達」については、性の問題や身体のことなど、中学生と高校生で約70㌫近くを占めています。

保護者からの相談は73件ありましたが、このうち最も多かったのは「対人関係」で23件。次いで「非行」の15件、「心身の発達」10件、「学校生活」7件の順でした。

電話相談が最も多かった時間帯は、午後2時から4時までで、全体の約56㌫を占めています。

### 経験豊かな相談員が

家庭内暴力や校内暴力が社会問題化されている反面、孤独な青少年が増えているのも事実です。

自分の悩みを両親にも言えない、話し合える友だちもいない。また、核家族化が進んでいる現在、若い親たちにとって、相談する年配者がいないなど……。

「相談ふじ」は、孤立化している社会生活の中で、青少年やその保護者の悩みなどを、社会経験豊かな奉仕員がお聞きし、それらを解決するための援助をいたします。どうぞ、お気軽にお電話ください。

**「相談ふじ」の開設時間は、正午から午後7時までで、日曜、祭日を除き毎日開いています。**

**相談ふじ 51－3741**
ミナヨイ

# 全市に愛のひと声を

## 春に青少年を守り育てる運動

春は青少年にとって、入学・進学・就職などを迎えるため、環境が大きく変化し、精神的にも何かと落ちつかない時期です。

このような時期に、地域や家族間で青少年とのふれあいを深めたり、青少年を取りまく社会環境を良くすることが大切です。

3月10日から4月9日までは、「春に青少年を守り育てる運動」。

市および警察署などの関係機関では、運動期間中の3月10日から16日までを、青少年健全育成強調週間として、愛のひと声運動や補導活動などを行い、青少年の健全育成を呼びかけていきます。

強調週間の主な事業として、全市域にわたるいっせい補導と愛のひと声運動、広報車による全市域への啓蒙活動、社会環境をよくする特別啓発活動などを行います。

青少年を非行から守るには、家族同志の話し合いはもちろんのこと、社会環境を良くすることも大切です。

地域・家庭・学校が一体となって取り組むことが必要とされています。

あなたのひと声が、青少年を非行から守ります……。

山脇万文(まふみ)さん(30歳)
富士見台3丁目7－10

**プロフィール**

大阪市城東区から、昭和55年に富士市へ。

つい最近まで市内の厚原北に住んでいましたが、現在は富士見台に新居を建て、ご主人の直邦さん、長男の直祐ちゃんの3人家族。

子育てにいそがしい毎日をすごしています。

大阪市城東区は、市内中心部から奈良方面に行ったところです。

料理の味つけで関西風・関東風といわれているように、関西は薄味ですね。

初めて富士でうどんを食べたときには、醤油の中にうどんが入っているように見え、味もからい(しょっぱい)なと感じたわ。それに富士の人は、関西では男性が使うような言葉を女性が使っていますね。語尾につける「…だら」が気になったわ。

厚原にいたときは、隣組の常会があり、話しをするうちに顔見しりになって、転入してきたばかりの不安も感じなく、幸運でした。

直祐がお腹にいるときも出産についての知識がなく、実家も遠いものですから、市のお母さん教室が大変参考になり、よかったです。富士山をバックにした市役所のすばらしさにも感激しました。

大阪にいるおばあさんが富士山を見たがっているので実現させてあげたいわ。

新幹線富士駅の設置運動が成功するよう市民の一人として祈っています。